

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大竹市立栗谷小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒739-0645
広島県大竹市栗谷町小栗林510

E-mail : kuritani@fch.ne.jp
 Website : members.fch.ne.jp/kuritani/

児童生徒数：男子 5 名 女子 4 名 合計 9 名
 児童・生徒の年齢 8歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 学校教育目標・学校の概要

「強く明るく素直な子」の育成

全児童数9名。人数は少なくても、人との良い関わりを積み重ねることで、どこに出ても自信をもって行動・活動できることを目指して栗谷小の子ども達を育てている。「栗谷小学校で学んで良かった」「栗谷小学校の卒業生であることを誇りに思う」と言えるように。栗谷小学校は、平成18年に、栗谷中学校とともに「ユネスコスクール」加盟校となった。「理念・・・考えは、地球の規模で、活動は足もとから・・・」この理念を基に、地球規模で考えられる子・・・ひらめきや、疑問を持ち、自分から疑問を調べ探究して行こうとする力、周りの豊かな自然から感じる心や体験を通しての感性、責任感を大切にしていきたいと考えている。身の回りにある「なぜ?」「どうして?」に気づき、「調べてみよう」「考えてみよう」と次のステップへ、「どうすればよいだろう」と探究し続ける子ども達に育てていきたい。子ども達は、ふるさと栗谷の良さに案外気づいていない。先輩たちが守ってきた「緑の少年団活動」を受け継ぎ活動し、まず足もとの栗谷についての良さや課題を考えていく中で、ふるさとの良さを再認識し、栗谷の未来・自分たちの未来についてしっかり考えさせていきたい。このことを通して、未来の社会をよりよく創造できる社会の担い手としての素地を作っていきたいと考える。

2 目的

「考えは地球規模で、活動は足もとから」の理念のもと、野鳥観察・保護活動や水質調査等の環境教育を行い、自然豊かと思われている山間部の地にも環境の変化が見られることに気づき、自然を守るために何をすべきか考え実践できる児童を育成する。

3 活動内容

① 野鳥観察・保護活動

- ・全学年対象に、特別活動に位置づけ、野鳥観察・巣箱掛けなどの保護活動を行った。
- ・1・2年は、生活科の時間に、「コシアカツバメ」の観察・記録を4月～10月まで継続して行った。
- ・3・4年は、総合的な学習の時間に、野鳥の生態について、野鳥の好むえさを調べた。
- ・5・6年は、保護活動のために巣箱の準備や、巣箱をかける高さ、場所などについて調べた。

② 水質調査・水生生物の観察調査

- ・3・4年が、総合的な学習の時間に、違う場所での川の水質調査・水生生物の調査を行った。

③ 保護者や地域への発信

実践は、学校だよりやHPなどで発信しているが、限度がある。児童の発表を通して、地域や保護者へ理解していただくきっかけにと学習発表会や、学期末のミニ発表会を設定し広く発信する場とした。また、3学期には、「全国野生生物保護実績発表大会」参加と「広島県 子ども環境会議」参加発表の報告会を行った。

- ・学習発表会「栗谷ミュージカル」での発表
- ・「全国野生生物保護活動実績発表会」での発表
- ・「こども環境会議」での発表
- ・報告会で地域・保護者に発表

④ ESD カレンダーの作成と実践

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）